

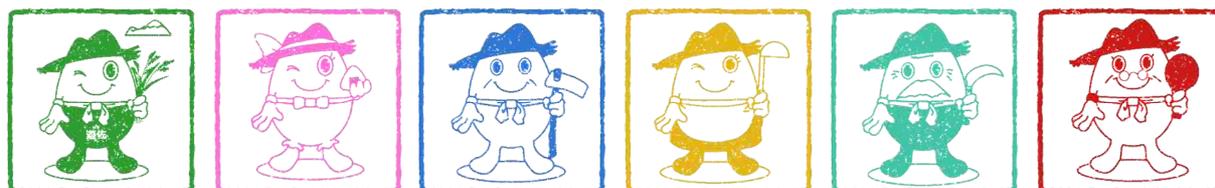
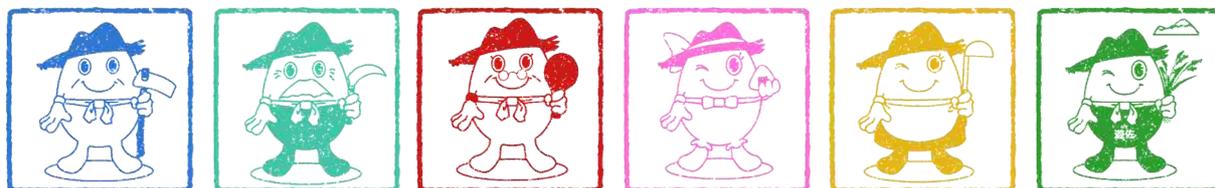
令和3年度

遊佐町

第19期

少年町長・少年議員
公選事業

活動報告書



令和4年3月 遊佐町

第19期遊佐町少年町長・少年議員公選事業活動報告書

目次

活動経過報告	...	1
実施要項	...	2
立候補者募集チラシ	...	5
少年町長・少年議会広報	...	6
第19期少年町長・少年議員一覧	...	8
有権者（町内在住・在学中高生）向けアンケート	...	9
アンケート集計	...	10
一般質問・政策提言 一覧	...	14
第2回少年議会 – 施政方針・一般質問・政策提言	...	15
第3回少年議会 – 全体総括・議会報告	...	22
(資料)		
遊佐町少年町長・少年議員公選事業説明資料	...	29
町議員との意見交換会の様子	...	34
ボランティアサークルくじらとの意見交換会の様子	...	35
特産品開発	...	36
ゆざっこかるた読み札募集チラシ	...	37
ゆざっこかるた完成品	...	38
ゆざっこかるた寄贈の様子	...	40
第16回マニフェスト大賞成果賞最優秀賞	...	41
広報ゆざ 令和3年8月1日号（少年議会スタート）	...	42
広報ゆざ 令和4年3月1日号（第19期活動報告）	...	43
プロジェクト委員名簿	...	45

令和3年度 第19期遊佐町少年町長・少年議員 活動日程

No.	期 日	活 動	場 所	備 考
1	6月25日	第1回少年議会	生涯学習センター	所信表明
2	7月2日	第1回全員協議会	生涯学習センター	自己紹介
3	7月9日	第2回全員協議会	生涯学習センター	アンケート集計
4	7月15日	第3回全員協議会	生涯学習センター	要望・政策についての協議
5	7月22日	第4回全員協議会	生涯学習センター	作文添削
6	8月5日	第5回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
7	8月20日	第6回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
8	8月26日	第2回少年議会	役場 議事所	政策提言・一般質問
9	9月1日	第7回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
10	9月8日	第8回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
11	9月15日	第9回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
12	10月1日	町議員との意見交換会	生涯学習センター	町議員12名、少年議会9名参加
13	10月6日	選挙音源の録音	役場	衆議院議員選挙へ向けた呼びかけ
14		第10回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
15	10月9日	鹿の角切り	大平山荘	神事は中止の為、角切りのみ参加
16	10月16日	第11回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
17	10月20日	第12回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議 (地域おこし協力隊中島悠氏来館)
18	11月9日	第13回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議 (地域おこし協力隊中島悠氏来館)
19	11月12日	第16回マニフェスト大賞授賞式	役場	成果賞最優秀賞受賞
20	11月19日	第14回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
21	11月27日	視察研修	生涯学習センター	ボランティアサークル「くじら」 との意見交換会
22	12月8日	第15回全員協議会	生涯学習センター	政策についての協議
23	12月24日	第3回少年議会	生涯学習センター	活動報告

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第19期）

1. 名称 「遊佐町少年町長・少年議員公選事業」

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と役割が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模でのしぜん環境の悪化、エネルギー、食糧、少子化・高齢化、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、こどもたちにおいては、勉強ができスポーツが上手であればそれでよしという時代ではなくなってきているというのが現状です。その上で、人間らしく「生きる力」を育成し、開かれた個としての人格の完成に向けて、これまで以上に、こどもたちが社会とつながる活動を大切にしていくことが重要です。その過程を通して、気づき、考え、行動し、表現する。そのことによって、培われた「学力」は、一層生きて働く方向性を見出していきます。

本事業を通して、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行うと共に、相互教育を行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議員の対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。
対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。
また、少年議員は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

(1) 少年町長（1名）

対象者のうち少年町長に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(2) 少年議員（10名）

対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(3) 少年副町長（1名）・少年監査委員（2名）・少年事務局長（1名）・少年事務局次長（2名）

特に必要があると認められるときに、少年町長・少年議員に立候補し、当選しなかった者のうちから委嘱する者。または、少年議員を除く少年町長・少年議員の対象者のうちから少年町長が選任する者

※少年議員の定員が定数内の場合は置かないものとする。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。
また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議員

少年議員は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議員は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査委員

少年監査委員は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 少年事務局長

少年事務局長は、少年議会の附属機関として、全員協議会の運営の手伝い、その他の事務処理等を行うことができる。

12. 少年事務局次長

少年事務局次長は、少年議会の附属機関として、少年事務局長の指示の下、全員協議会の手伝い、事務処理等を行うことができる。

13. 事業期間

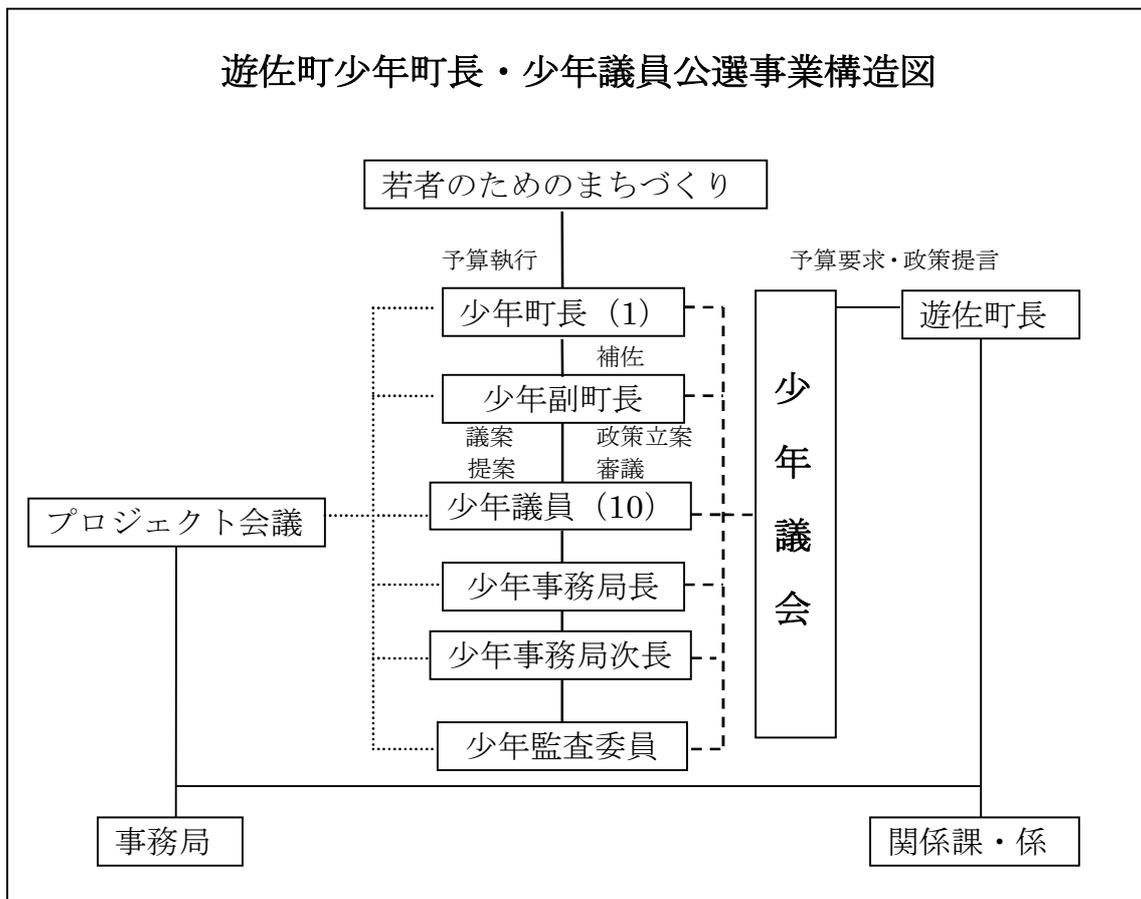
令和3年4月～12月（第19期）ただし、少年町長・少年議会から要望があるときは延長することができる。

14. 事業スケジュール（概案）

別紙参照

15. 政策予算

全期間を通じて450,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。





明日の遊佐町に
わたしたちは
提案します！

いま

中高生にしかできないことがある！

第19期 少年町長・少年議員

自分たちの
アイデアを
実現しよう！



立候補者募集中

【受付期間】 2021 5/14(金)→21(金)



小学校での事業説明



第3回少年議会



遊佐高校/パンプロジェクト



次年度検討会

I 選ぼう！

●遊佐町に在住・在学の中高生の中から「少年町長」「少年議員」として活動して
みたい人の立候補を受け付けます。定数を超えた場合は投票を行い当選者を決定
します。

立候補受付期間

2021年 5/14[金]→21[金]

公選で選ぶ人

- ① 少年町長 1名 ※定数を超えた場合などには、少年副町長や少年
- ② 少年議員 10名 監査などへ就任してもらいます。

II 討議しよう！

●少年町長・少年議員だけで集まり、町への要望や独自の政策など
話し合いをする全員協議会は学校の勉強や部活動などを考慮して
日にちを決めています。(例：土・日の午後、平日の夜など)

III 実現しよう！

●全員協議会などで話し合った独自の政策を45万円の予算を用い
て実現していきます。昨年の活動は「遊佐町 少年議会」で検索し
てください。少年議会専用のHPがあります。

【問い合わせ・連絡先】

遊佐町教育委員会教育課社会教育係 (遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内)

TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222 MAIL.youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議会

検索



キリトリ

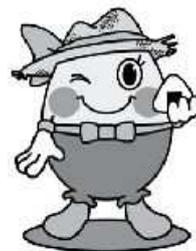
【第19期】遊佐町少年町長・少年議員公選事業 立候補届

立候補 少年町長・少年議員	学校名	立候補の抱負
ふりがな	() 学年	
氏名		
住所		
連絡先		



米ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

遊佐町少年町長・少年議会広報



ライちゃん
遊佐町イメージキャラクター

明日の遊佐町に、ほくたちは、わたしたちは、提案します

第19期少年町長・副町長・議員決定のお知らせ

遊佐町では令和3年5月14日(金)から5月21日(金)まで、第19期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長・副町長に各1名、少年議員に10名の立候補がありました。その結果、少年町長・副町長・議員ともに定数内の為、全員の当選が決定しました。

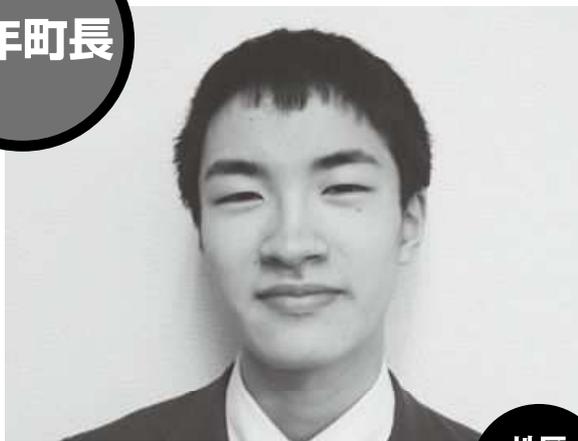
今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍していきますので、みなさん応援をお願いします。

また、これからの少年議会の活動のもととなる有権者のみなさんからの、町に対するご意見を募集します。学校で配布するアンケート用紙に記入の上、下記事務局までお寄せください。メール等でも受け付けます。

みなさん一人ひとりのご意見が、明日の遊佐町をつくります。多くのご意見をお待ちしています。

遊佐町少年町長・副町長

少年町長



羽黒高校2年

地区
高瀬

さ とう るい
佐藤 塁

昨年度までの5年間、少年議員として遊佐町に必要なものや、若者のために何ができるか等、様々な経験をしながら考えてきました。今年度は少年町長としてそれを活かし、遊佐町をよりよい町にします。よろしくお祈りします。

少年
副町長



遊佐高校2年

地区
遊佐

あん どう き しょう
安藤 希祥

私は今期で2期目の参加になります。私は昨年の活動で若者にも遊佐町をよりよくする力があると気づかされました。今期、遊佐町の中高校生と遊佐町民が楽しむことができる企画や、遊佐町の魅力を発信していきたいと思っています。よりよい町にできるように頑張ります。

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

●遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局 ●遊佐町教育委員会教育課社会教育係

〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内

Tel.0234-72-2236 Fax.0234-71-1222 Mail.youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議員



私は県外の人に向けて遊佐町の魅力を発信するのではなく、まず遊佐町民に向けて遊佐町の魅力を伝えていくべきだと思います。昨年度行ったアンケートの結果から分かるように遊佐町に対して愛着を持っている人があまり多くないのが現状です。そんな人が遊佐町を好きになれる、また、遊佐町が好きなお人にもっとも遊佐町の魅力を伝えていけるような活動をしていきたいです。

遊佐中学校
2年

さい とう ひ かり
齋藤妃花里

地区
高瀬



私は少年議会に入って昨年度と同じく町議員との意見交換会と遊佐町宝探しをやりたいです。意見交換会では、自分たちでは考えつかないような考えを共有したりしていきたいです。遊佐町宝探しでは、遊佐町の人々に聞いたそれぞれの宝をSNSなどで伝え、他県の人にも知ってもらえるような活動をしたいです。

遊佐中学校
3年

あら お も か
荒生 萌歌

地区
遊佐



新型コロナウイルス感染症予防対策として、小中学校のトイレに便座除菌クリーナーの設置を要望したいです。また、役場新庁舎に雨の日に来庁される町民の皆さまが利用するための手作り傘立ての設置を政策目標として取り組んでいきたいと思っています。

遊佐中学校
3年

さい とう つばさ
齋藤 翼

地区
遊佐



遊佐町民の方々の生活や町全体の雰囲気をもっとよくし、少年議員にできることを積極的に行いたいと思います。自分から案を出し、遊佐町全体を明るくしたいです。話し合いでは、自分から意見をまとめ、いろんな活動で貢献します。

遊佐高校
1年

いけ だ か れん
池田 花恋

地区
蕨岡



私は今期やりたいことが1つあります。それはSNSやYouTubeなどを使った遊佐町や少年議会の自己PRです。世界に、遊佐町や少年議会のことを伝えられるように頑張ります。

酒田南高校
1年

いけ だ りょう と
池田 涼人

地区
高瀬



私は少年議会や地域の運営に関わる活動を行ったことがあるので、その経験を活かしていきたいです。遊佐町の課題として、美味しい食べ物や美しい自然などの魅力がたくさんあるのに、その認知度が低いことだと思います。その対策としてYouTubeなど多くの人の目にとまるもので発信できたらと思います。

遊佐高校
1年

かた やま さくら
片山 櫻

地区
遊佐



私は地域みらい留学生の松下です。私が少年議会に立候補した理由は自分の地元の千葉県ではできないことが遊佐町にはあり、若者の意見を取り入れて活動できるのでそれを活かして遊佐町をよくして町を超えた発信をしていきたいと思っています。

遊佐高校
1年

まつ した じゅん
松下 潤

地区
遊佐



初めて少年議員に立候補させていただきました。何かと分からないことが多いと思いますが、遊佐町をよりよくしていけるよう、頑張りたいです。

酒田東高校
2年

おお た はる
太田 英遙

地区
高瀬



初めての立候補ですが、遊佐町のために何が出来るかをしっかり考えて、よりよい遊佐町をつくれるように頑張ります。

酒田東高校
2年

さい とう はる と
齋藤 温人

地区
高瀬



町に求めるものを若者が町に残るそういう環境づくりを大切に、町で誇れるものを活かして町のために高校生なりの考えを町の中に取り入れていきたいと思っています。

酒田光陵高校
2年

すず き し の
鈴木 詩乃

地区
蕨岡

第 19 期 少年議会メンバー

少年町長

1.	佐藤 壘 (さとう るい)	男	羽黒高等学校 2 年	高瀬
----	---------------	---	------------	----

少年副町長

1.	安藤 希祥 (あんどう きしょう)	男	遊佐高等学校 2 年	遊佐
----	-------------------	---	------------	----

少年議員

1.	齋藤 妃花里 (さいとう ひかり)	女	遊佐中学校 2 年	高瀬
2.	荒生 萌歌 (あらお もか)	女	遊佐中学校 3 年	遊佐
3.	齋藤 翼 (さいとう つばさ)	男	遊佐中学校 3 年	遊佐
4.	池田 花恋 (いけだ かれん)	女	遊佐高等学校 1 年	蕨岡
5.	池田 涼人 (いけだ りょうと)	女	酒田南高等学校 1 年	高瀬
6.	片山 櫻 (かたやま さくら)	女	遊佐高等学校 1 年	遊佐
7.	松下 潤 (まつした じゅん)	男	遊佐高等学校 1 年	遊佐
8.	太田 英遙 (おおた はる)	男	酒田東高等学校 2 年	高瀬
9.	齋藤 温人 (さいとう はると)	男	酒田東高等学校 2 年	高瀬
10.	鈴木 詩乃 (すずき しの)	女	酒田光陵高等学校 2 年	蕨岡

第 1 回 少年議会 (令和 3 年 6 月 25 日)

遊佐町少年議会 アンケート

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの考えをお寄せ下さい！
少年町長・少年議員にあなたの意見をとどけましょう！

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

例) ○○な町、△△がある町 など



2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？（あてはまるものに○をつけてください。）

- ・とても思う
- ・思う
- ・あまり思わない
- ・思わない



3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

- ・知っている
- ・知らない



3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？

少年議会に何をしてほしいですか？

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？



4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？



4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？



☺ご協力ありがとうございました。

☺今後の少年議会の活動に、ご協力と応援をお願いいたします。

第 19 期少年議会アンケート集計

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

1-1	内容
明るい町	元気な町、活気のある町、楽しい町
きれいな町	清潔な町
今のままの町	自然豊かな町、静かな町、農業が盛んな町、
住みやすい町	都会的な町、若者向けの施設がある町、遊ぶ場所がある町、便利な町
豊かな町	若者、子どもが多い町、スポーツの盛んな町 いろいろな人・場所との交流が盛んな町
安全な町	平和な町
有名な町	注目される町
その他	アニメイトがある町、若者が積極的な町 美しいものがある町

2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？（あてはまるものに○をつけてください。）

2-1	票数	割合
とても思う	113	22%
思う	275	53%
あまり思わない	106	21%
思わない	22	4%

3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

3-1	票数	割合
知っている	114	22%
知らない	393	78%

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？

3-2	票数
手作りベンチ	47
米～ちゃん階段アート	12
意見交換会	8
ボランティア活動（募金等）	7
遊佐町宝探し	7
遊佐町観光パンフレット	5
遊佐高校にパン屋「小むぎ」	5
米～ちゃん	4
ゆぎミュージックフェスティバル	3
スタディスペース	2
JR へのダイヤ改正要望	1

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

4-1	票数	内容
祭り	61	花火大会、ハロウィン
音楽	30	音楽フェス
スポーツ	28	体育大会、100kmマラソン、鬼ごっこ
清掃	14	海岸清掃
食べ物	7	大食い（米・果物）、芋煮会
PR	5	自然を活かす
その他		ふれあい、フリーマーケット、中学校に有名人を呼ぶ、動物との触れ合い、SDGS、アニメイベント、遊佐町クイズ、田んぼアート
特になし	318	

4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-2	票数	内容
お店	137	カフェ、コンビニ、カラオケ、アニメイト、ゲームセンター、遊園地、駄菓子屋、映画館
遊べる場所	37	公園、スポーツ場
勉強場所	16	学生が気軽にいける場所 図書館とは別のスペース、学生塾 遅くまで利用できる場所
映えスポット	6	
街灯	3	

その他		工場、サッカースタジアム、スケート場 生き物が見れる場所、スケートボード Wi-fi が繋がる場所、モニュメント アスレチック、避難場所
-----	--	---

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？

4-3	票数	内容
ゴミ拾い	32	海岸清掃
ボランティア	23	中高生ボランティアサークル「くじら」との 活動、豪雨災害地域への募金活動
その他		逃走中、ものづくり、筋トレ、町内探検 PR 活動、運動イベント、森林整備
特になし	424	

第19期少年議会 一般質問(町への要望)・政策提言

役職	氏名	内容区分	内容主旨
少年議員	齋藤 妃花里	一般質問 (町への要望)	アスレチック施設について
少年議員	池田 涼人		
少年議員	片山 櫻		
少年町長	佐藤 壘		タブレットを使った学校教育について
少年議員	松下 潤		
少年議員	太田 英遙		
少年議員	荒生 萌歌	少年議会独自の 政策提言	町のイベントについて
少年議員	齋藤 翼		
少年議員	池田 花恋		
少年副町長	安藤 希祥		遊佐町の特産品について
少年副議長	齋藤 温人		
少年議長	鈴木 詩乃		

少年議会

政策 提言



【 施政方針・一般質問・政策提言 】

令和3年8月26日(木) 第2回少年議会

施政方針

少年町長 佐藤 塁

「戮力協心りくりよくきょうしん～新世代の意見を地域発展に～」

第2回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第1回少年議会以降、全員協議会を開催し、「遊佐町少年議会アンケート」として行った若者の意見調査の集約結果などをもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。

その結果を踏まえ、第19期少年議会では、「戮力協心りくりよくきょうしん～新世代の意見を地域発展に～」をコンセプトとして、活動していきます。

アンケートでは、遊佐町にどんな町になってほしいか？という質問に対して、「明るい町」、「キレイな町」という意見がありました。遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますかという質問では、「とても思う」、「思う」と回答した人が全体の約75%いました。また、遊佐町少年議会の今までの活動を知っていると答えた人は、全体の22%しかいませんでした。これはまだまだ少年議会の周知が足りていないということが分かる結果でした。

そこで、第19期少年議会では、自分たちの暮らす遊佐町を私たち若者が暮らしやすい町にする為、遊佐町の若者代表として活動し、少しでも若者の目指す遊佐町に近づくため、少年議会らしい「まちづくり」を行っていきます。

また、今年度、少年議会は第19期を迎えました。歴代の少年町長・少年議員の活動を振り返り、意思を引き継ぎながら、新しい活動も検討していきます。少年議会の活動は、町民の皆さんと有権者の中高生のご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。よろしく申し上げます。

以上を、今年度少年議会の施政方針とします。

少年議員 齋藤 妃花里

私は、少年議員の遊佐中学校2年生の齋藤妃花里です。私は、遊ぼっとへのアスレチックの増設を要望します。

新型コロナウイルスが2年前の春に流行し始め、私たちは突然の休校に戸惑いながら以前とは違う自粛生活が始まりました。当時の私は、自粛生活をすることでメディアと関わる時間が増え、運動することもなくなり、休校期間が延びるほど規則正しい生活を送ることが困難になりました。これでは体に悪影響があるのではと、毎日不安な日々を送っていました。そんなときに、親も私の体を心配して光が丘にあるアスレチックのある公園に行こうと誘ってくれました。光が丘の公園には野外アスレチックで遊ぶ子どもたちの姿がたくさん見られました。私自身も久しぶりに屋外で思いっきり体を動かすことができ、心も体もすごくリフレッシュすることができました。

私は、コロナ禍でなかなか遠出できない今こそ、遊佐町にもこのような施設があったらいいのではないかと思うようになりました。しかし改めて考えてみると遊佐町には子どもから大人まで体を動かして楽しめるような施設はあまりないことに気づきました。そして町外の観光客の方でも分かりやすく、利用しやすい場所で野外アスレチックを作るとしたらどこが一番適しているか考えた場合、遊ぼっとが一番いいのではないかと思います。

以上のことから、私は遊ぼっとへの野外アスレチックの増設を要望します。遊佐町がよりよい町に発展することを期待しています。

少年議員 池田 涼人

私は、少年議員の酒田南高校1年生の池田涼人です。私の要望は、遊ぼっとに自然を活かした若者向けのアスレチックの増設です。

私は、よく友達と遊びに行くとき、鳥海パノラマパークに行きます。しかしそこには、小さい子ども向けのアスレチックしかなく、毎回物足りないと感じています。他の場所を探してみても、アスレチックを本気で遊べる場所はないように思います。

この体験を基に、私はアスレチックの増設を要望します。しかも、ただのアスレチックを増設するのではなく、遊佐町の自然を活かしたアスレチックを遊ぼっとに増設したいです。そうすることで、元々ある子ども向けのアスレチックと増設する若者向けのアスレチックで、小さい子どもから大人まで楽しめるアスレチック施設が完成し、知名度アップに繋がると思います。

以上のことから遊ぼっとへのアスレチック施設の増設を要望とします。

少年議員 片山 櫻

私は、少年議員の遊佐高校1年生の片山櫻です。私は要望として「遊ぼっと」に自然を活かしたアスレチックを増設したいと考えています。

なぜこのような要望を考えたかという、小学生以下が遊べるような公園などはあっても、中高生が遊べる場所は少ないように感じたからです。ほとんどの中高生が遊びに行く場所といえば、酒田市などの遊佐町外の場所に行くのが現状です。そこで遊佐町内に中高生が気軽に行けて楽しめる場所があったらいいなと思いました。さらに遊佐町の魅力の一つである豊かな自然を活かせたらと考えています。

具体的な内容として一つ挙げたいと思います。一つは、遊佐町の自然を活かしたフィールドアスレチックです。フィールドアスレチックとは、自然環境の中で障害物を組み込んで造られた様々なアトラクションを通過し、冒険的要素で運動能力を高める遊具施設のことです。もう一つは、遊佐町の湧水を活かした水上アスレチックです。湧水を活かせば町のPRにもなり、中高生の新たな夏の遊びスポットにすることもできます。

以上の二つは、中高生の遊べる場所もでき、他の年齢層の人でも利用することができる場所を造ることができます。

これらのことから、中高生が遊佐町内で遊べ、遊佐町の魅力を活かすことができるアスレチックを遊ぼっとに増設することを要望として挙げさせていただきます。

少年町長 佐藤 壘

私は、少年町長の羽黒高校2年生の佐藤壘です。私が遊佐町に要望することは、小学校でのタブレットを利用した国際交流です。

小学校では、英語活動・英語科目が導入されており、第17期少年議会では、英語活動支援員制度の導入についても要望したことがあります。相応の英語力を有する小学校教員の割合は全体の1%にも達していないと言われており、またコロナの影響で、外国語指導助手ALTが在籍していない時期もありました。これから国際社会の影響を大きく受ける子どもたちには、使える英語力をつけさせる必要があります。小学校から英語教育にもっと力を入れるべきだと思います。

そこで私は、今年度から小学校に導入されたタブレットを利用し、海外の人とオンラインで交流できないかと考えました。オンラインで行うことで、コロナウイルスに関係なく、本場の英語を学ぶことができ、また話した英語が外国人に伝わるという体験は、小学生のやる気に繋がります。海外の家や学校を見る機会があれば、文化交流にもなり、小学生にとって視野の広がる良い経験となると考えます。同世代の小学校とも交流できれば、なお楽しく学習できるのではないのでしょうか。

以上のことから、私は遊佐町に小学校でのタブレットを利用した国際交流を要望します。遊佐町の子どもたちのために、よろしくお願いします。

一般質問

少年議員 松下 潤

私は、少年議員の遊佐高校1年生の松下潤です。私は、遊佐町に小学校でのタブレットを用いた国際交流を要望したいと考えています。なぜこのような要望を提出したかという理由は三つあります。

一つ目は、外国の人と幼少期から交流することで英語に対しての苦手意識がなくなり、様々な価値観に触れることができ精神的に成長できるからです。

二つ目は、コロナ禍の影響で小学校に外国語指導助手 ALT が来ることが遅れていたことです。タブレットではコロナ禍の関係もなく、本場の人と交流することができます。

三つめは、姉妹都市であるハンガリーについてです。コロナ禍以前は、ハンガリーとの国際交流を毎年行っていました。コロナ禍になってからはハンガリーに行くことはできなくなっています。今年度の開催についてはまだ決まっていないとは思いますが、タブレットを使って先に異文化交流をしておくことで実際に現地を訪れた際に、どれだけの年月が経っていたとしても自然に交流できると思います。またオーストリア人の友達からメールで現地ではコロナ禍以前の生活に戻りつつあり、ハイキングや森林浴などが再開していると書いてありました。持ち運びが可能なタブレットを用いて、あちらの自然をオンラインで体験しながら、遊佐町の自然を紹介するという応用が利くのもタブレットの利点です。

以上のことから遊佐町の小学生の国際交流だけではなく、遊佐町の知名度向上などにもなるので遊佐町に小学校でのタブレットを利用した国際交流を要望します。

一般質問

少年議員 太田 英遙

私は、少年議員の酒田東高校2年生の太田英遙です。私が今期遊佐町に要望することは、タブレットを利用した国際交流です。

遊佐町にある小学校にはタブレットが導入されました。そこで、ZOOM などのアプリを利用して、外国人の方々と触れ合い、英語力の向上を目指したいと思います。また、同年代の外国の学生と触れ合う機会があればコミュニケーション能力を伸ばすこともできます。これを小学校の英語の授業の一環として取り行うのはどうかと考えたので、要望として提出させていただきました。

まずこの要望のメリットは、若いうちから海外との交流を行うことでネイティブな英語に慣れることができます。そうすることで中学校からの本格的な英語の授業の内容もより覚えやすくなり、英語に対しての嫌悪感が無くなるのではないかと考えました。また、海外の方と話すことで、海外の文化や海外がどのような雰囲気なのかを知ることもでき、海外留学を目指すとなったときに役に立つとも考えられます。

グローバル化となった今、まずは海外の人と話すことが大切になってきます。勉強にタブレットが取り入れられるようになったことを使い、海外と繋がるのは一種の遊佐町の教育を発展させるチャンスだと思います。出来る範囲でいいのでこのやり方を取り入れることができれば少しでも優秀な人材を輩出できる可能性があります。

以上のことから、私は小学校でタブレットを利用した海外交流の授業の追加を要望します。

この要望を採用していただき、小学生の子どもたちに良い経験と知識を蓄えてほしいです。ご検討の程、よろしくお願いいたします。

政策提言

少年議員 荒生 萌歌

私は、少年議員の遊佐中学校3年生の荒生萌歌です。今年度の少年議員での政策は、かるた大会などのイベントを考えています。このイベントをしたいと考えた一番の理由は、新型コロナウイルスの影響です。新型コロナウイルスの発生から1年以上が経過しています。世界的な状況はとても悲惨なこととなっております。ほとんどのイベントの中止、延期が相次いでいます。遊佐町もその影響を大きく受けています。その失われた活気を取り戻し、今よりも活気溢れる町にしていきたいと考えているので、この政策を考えました。

具体的な内容として、まずかるたの内容です。かるたは少年議員独自のものを作成したいと考えています。かるたにも様々な種類があります。例えば、ことわざかるた、アニメかるた、だじゃれかるたなど、沢山あります。その多彩な種類のあるかるたで、遊佐町についてより分かる内容、今の世界の現状についてよく分かる内容にしたいと考えています。

集客についても問題になってくると思います。私はチラシを人が集まる場所に貼るだけでは集客は望めないと考えています。小学校などに直接持っていくことで、一人ひとりに政策の説明ができると思います。

政策実現のために頑張ります。よろしくお願いいたします。

政策提言

少年議員 齋藤 翼

私は、少年議員の遊佐中学校3年生の齋藤翼です。今年度の少年議会の政策は、かるた大会をしようと考えています。この政策を行いたいと思った理由は、コロナが大きく影響しています。コロナ禍でイベントなどの人が集まって行うものは中止や、規模縮小などの状況となっております。そこでこのかるた大会を通して気分転換になればいいと思っています。

このかるた大会は、人をたくさん集めないと意味がありません。そこでマックスバリューなどの人が集まる場所へのポスター掲載、小中学校・高校でのチラシ配りをしたいと考えています。この方法なら幅の広い年齢層にイベントを周知できると思います。

かるた大会の内容は、遊佐町に関連したものを少年議会メンバーで作成して、それを使って実施したいと考えています。このかるた大会を通じて、もっと遊佐町を知ることができ、魅力に気付いてもらえたらとも思っています。かるた大会の他にもカードを使ったゲームもしてみたいです。

この政策を通して、少しでもコロナ禍の中でも気分転換ができればと思っています。政策実現のために頑張ります。よろしくお願いいたします。

少年議員 池田 花恋

私は、少年議員の遊佐高校1年生の池田花恋です。今年の少年議会の政策は、かるた大会をしたいと考えています。この政策をしたいと考えた理由は、未だコロナウイルスの終息が見えないからです。遊佐町内のイベントは延期・中止が相次いでいる状況です。そんな時だからこそ、この遊佐町を活気のある町にしたいと考え、この政策をしたいと考えました。

具体的な内容としては、まずは集客についてです。遊佐町で集客を考えると、チラシを設置するだけでは集客は望めません。そこで考えたのは、幼稚園・保育園、小学校への訪問です。直接チラシを手渡して説明することでイベント内容を詳しく知ってもらうことができます。スーパーなどの人の集まる場所でチラシを配るなど様々な方法を試したいと思っています。

かるた大会の内容につきましては、少年議会独自のものにしたいと考えています。皆さんはスポーツかるたというのを知っていますか。今までのかるたとは違い、札にはお題が書かれていて、どれも体を動かすものばかりとなっています。このかるたは、探すだけではなく体も動かすのでコロナ禍の今にぴったりだと思います。他にも様々なルールを取り入れることで、かるたの可能性を広げることができます。

年齢問わず、様々な人が交流できるイベントにしたいと思います。政策実現のために一生懸命頑張ります。よろしくお祈りします。

少年副議長 齋藤 温人

私は、少年副議長の酒田東高校2年生の齋藤温人です。今年度の政策は、「遊佐町の特産品」です。

なぜこのような政策をしたいという考えに到ったかという、私が前々から遊佐町特有の特産品が少ないのではないかと思ったからです。また、今の若い世代の方たちの要望を反映して商品を生み出すのに、この少年議会が最適だと思ったからです。少しでもたくさんの方の興味や遊佐町を知ってもらえるきっかけにもなるかと思っています。

具体的な政策内容としましては、私たち少年議会の中で案を考えて、その案を企業の方に送って商品化できるかを考えてもらうといったものです。これまでも政策として少年議会で遊佐町の特産品を作ろうというものがありませんでした。しかし、予算の都合上何回も試作品は作ることはできなかつたり、完成したとしても1個あたりのコストが高く販売できなかつたりなどの問題点がありました。そこでこの問題点や反省点をどうにか改善できないか考えたのがこの政策内容です。自分たち若い世代の意見を取り入れることもでき、コスト的な面でも大きく抑えることができます。また、企業のあても何個かあるので現実的で成功もしやすい政策だと思います。

この活動を通して、自分自身も遊佐町の良さを再認識し、新たな発見もできると思っています。他の地域の方々や遊佐町なんて聞いたことのないという方にも知っていただける良い活動になるように頑張りたいと思います。

少年議長 鈴木 詩乃

私は、第 19 期少年議長の酒田光陵高校 2 年生の鈴木詩乃です。今期の少年議会では政策の一つとして、「特産品の開発」を行います。

遊佐町の一番の魅力は、自然の多様性に溢れているところです。そこで私は、遊佐町のシンボルである鳥海山から流れる湧水を利用して育てられる農業や漁業をもっと活性化させたいと思いました。新しい特産品を「つくる」のではなく、あえて「つづける」という点に着目しました。どのような町になってほしいかというアンケートにも、今のままの自然豊かな町、産業が盛んな町という意見が若者から出ているというのは、とても良いことだと思います。

まずは、土台である産業の環境を整えてあげることです。例えば、遊佐町で取れる牡蠣は、大きく濃厚でとろけるような味わいです。そんな美味しいものが遊佐町にあることを若い人たちはどのくらい知っているのでしょうか。牡蠣自体も少なくなっているのに加えて、知名度も高くないように感じます。この危機を救って、まずは、町民に救ってもらいたいと思います。町民同士でこうした活動をすることは、地産地消にも繋がってきます。

若い皆さんが気づいていないだけで特産物が意外と身の周りにあります。魅力あるものを減らすのはもったいないことだと思うので、特産物から特産品の開発を目指していきたいと思います。

少年議会

政策 提言

2

【第19期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと】

令和3年12月24日（金） 第3回少年議会

全体総括

少年町長 佐藤 塁

私たち第19期少年議会の活動は、6月25日の第1回少年議会から始まりました。今期の少年議会活動を行うにあたり、若者（有権者）の意見をアンケートという形で調査しました。結果、遊佐町は若者の思いや声を取り入れたまちづくりをしていると答えた人が全体の約75%いました。その一方、少年議会の今までの活動を知っている人は全体の約22%しかいませんでした。有権者にとって印象に残るような活動をする必要があることが分かりました。

第19期少年議会では、コンセプトを、「戮力協心りくりょくきょうしん～新世代の意見を地域発展に～」をコンセプトとして、活動していきました。

この目標の実現に向け活動し、様々な政策を実現しています。

遊佐町特産品の開発では、地域おこし協力隊の中島さんと協力して実際に特産品を作ってみました。来年度以降も協力して活動できればと思っています。

また、オリジナルかるたの作製では町民から募集した読み札で遊佐町の魅力がたくさん詰まったかるたを作りました。来年度以降このかるたを使って大会などができればと思っています。

地域の方々からご理解、ご協力に支えられ多くの政策を実行に移しましたが、学校と少年議会活動との両立が難しく、全員がそろって活動する時間が少なかったなどの課題も残りました。活動を通して新たに出てきた課題については、可能な限り、次期少年議会から引き継いでほしいと思っています。

少年町長 佐藤 罌

私は、少年町長の佐藤罌です。今年度も昨年度同様にコロナウイルスの影響もあり、思うような活動ができない場面も多くありましたが、遊佐町をより良い町にするために活動をしてきました。

今期は遊佐町オリジナルかるたの作製、遊佐町の特産品の開発を政策として実現しました。遊佐町オリジナルかるたに関しては、当初の予定では町民を巻き込んだかるた大会をしようと考えていましたが、中止となってしまいました。しかし、かるた大会はできなくても遊佐町についてのかるたはコロナウイルスの影響も受けずに作ることが出来ると考え作製することとなりました。子どもたちに遊佐町のことを知ってもらえればと思っています。かるたを作る上で、私たちは町民に読み札の案を募集しました。結果、たくさんの案を町民の皆さまからいただき、どれを採用するか少年議会メンバー同士でも悩みました。改めて遊佐町には魅力がたくさんあると気づくこともできました。来年度の少年議会では、町民の皆様それぞれの思う遊佐町の魅力を聞きたくなる政策となりました。きっと自分や他の少年議会メンバーも知らない魅力を聞くことができ、それを少年議会でPR できたら面白くなると思いました。

また、今期もたくさんの視察が少年議会にありました。そこで少年議会についての話をすることで改めて自分たちのしていることは素晴らしいことだと気づくことができました。私は、全国に少年議会のような組織がもっと増えてほしいと思っています。それが日本の若者の投票率にも繋がってくると期待しています。

私は、来年度も少年町長に立候補する予定です。来年度こそは、新型コロナウイルスが終息することを期待し、今期作製したかるたを使ったイベントを開催したいと思っています。

また、先ほど述べたとおり遊佐町の魅力を集め、それを知らない遊佐町民や遊佐町外の人にも宣伝できたらと思います。今期も少年町長として有意義な活動ができたと思います。来年度も今年度の経験を活かして遊佐町のために活動していきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

少年副町長 安藤 希祥

私は、少年副町長の安藤希祥です。今期の少年議会では政策として、遊佐町の特産品開発と遊佐町オリジナルかるたの作製をしました。

私は今期の活動を通して、少年議会の活動の在り方について考えました。その理由としては、今期の政策の一つであったオリジナルかるたの絵札作製で一人の少年議員に大きく負担をかけてしまいました。絵の案や色塗り、読み札は手伝うことができましたが、それでも大きな負担がかかっていたと思います。本人は「大丈夫です」と言っていたのですが、これからは一人に負担がかかるような政策はしたくないと考えています。かるたには少年議会作製と書かれています。私は自信を持って作ったとは言えないでいます。今後は周りをよく観察して、手伝えることがあればみんなで手伝うことを来期の活動で意識したいと思っています。私自身が「私も書くよ」と声をかけることができなかつたのは、かるたの質を落としてしまうと思ったからです。私は絵が下手ですが、だからと言って書いてはいけないということは

なかったように思います。少年議会に所属している以上、みんなで作ることに意味があり、少年議会メンバー全員のクオリティを上げていかなければなりません。

ここまで反省ばかりでしたが、頑張れたこともあります。それはマニフェスト大賞の成果賞で最優秀賞を受賞できたことです。2,730件の応募数の中から最優秀賞を受賞できたことは胸を張っていいことだと思っています。これまでの積み重ねがこの結果に繋がったと思うのでこれからも遊佐町に明るいニュースを届けられるように頑張ります。

来期は、前期の反省でもある周りをよく観察して、手伝えることは手伝えることを意識して少年議会に臨みたいと思っています。1年間ありがとうございました

議 会 報 告

少年議長 鈴木 詩乃

私は、少年議長の鈴木詩乃です。今期の少年議会では、遊佐町の更なる充実を願って「ゆざっこかるた」の作製と特産品の開発を政策として行いました。アンケート結果から有権者の意見を取り入れつつ、少年議会メンバーの考えも活かせるように協議を重ねました。協議を重ねるにつれ、自分の考えを伝える場面も増えていき、遊佐町の取り組みに直接関わっていることを強く感じる事ができました。

今回の活動を通して、遊佐町の一番の課題と感じたのは過疎化についてです。過疎化の進行は、その地域に住む人が利用するインフラや医療体制にも繋がってきます。これは遊佐町だけではなく、日本のあらゆる地域で抱えている課題とも言えます。遊佐町では、農業や水産業の担い手が減っている現状です。これらの事業は、食料供給だけではなく、地球温暖化対策のための環境保全をするなど大きな役割を果たしているため大きな課題だと思います。

遊佐町では、人口を増やすためのサポート制度よりも町内バスの運行を増やし、貸し出しの自転車に至るところに設置するなどしてほしいと思っています。そうすることで、広い遊佐町で景観を楽しみながら、安易に移動することができます。景観を変えずに守っていくことが人口増加にも繋がっていくと思います。

来期の少年議会ではスポットに特化した活動をしたいと考えています。若年層の確保ももちろん大切なことですが、まずは遊佐町の自然を背景にしたスポットを設置することで若年層も含めた、様々な人に親しみを持ってもらえると思いました。今期の少年議会で得たことを活かして、来期でも遊佐町に貢献していきたいです。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年副議長 齋藤 温人

私は、少年副議長の齋藤温人です。今年度の政策は、特産品の開発と遊佐町オリジナルかるたの作製です。私は初めて少年議員として1年間活動してきました。特産品の開発では、遊佐町の名産品などを使った料理のレシピを考えました。商品化するまでは至りませんでしたが、自分が今まで知らなかった遊佐町の食の良さに改めて気づくことができました。遊佐町オリジナルかるたの作製でも同様に、遊佐町の良さにたくさん気づくことができました。このように遊佐町の良さを自分自身が再確認し、発信する活動は自分にとって貴重な経験になりました。

政策を進めていく中で、新たな課題も見つけました。このような活動を通じて自分自身が遊佐町の良さに気づいているということは逆に言うと、自分と同じ年代の人は遊佐町の良さにまだ気づいていない人が多いということになります。これを解決するためには、私がした経験を他の若い人にも経験してもらわなければならないと思います。少年議会に入って経験するのが一番の手ですが、難しい人も多いと思うので、若い人を巻き込んだ政策を何かできればと思っています。

来年度には受験勉強の本格的に始まります。そのため少年議会に立候補することはないと思います。今年度少年議会で経験したことを胸に、遊佐町の良さを発信していきたいと思っています。同時に自分自身でも良さを見つけられるよう日々過ごしたいと思っています。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 齋藤 妃花里

私は、少年議員の齋藤妃花里です。私が特に印象に残っている活動は「遊佐町オリジナルかるたの作製」です。予想を上回るほどクオリティの高いかるたを少年議会のメンバーで作ることができてとても嬉しかったです。小さい子どもからお年寄りまで、このかるたを使って、楽しみながら遊佐町のことをよりたくさん知ってもらえたらと思います。

私が課題と思ったこともあります。この「遊佐町オリジナルかるたの作製」は、もともと「遊佐町のことをもっと多くの人に知ってもらおう」という目的を果たすための一つの手段として考えたものです。コロナの影響もありましたが、今期はかるたの作製がゴールとなってしまうしました。出来上がったかるたを子どもやお年寄りがたくさん利用する施設に配りましたが、本来の目的を達成できずに活動が終わってしまったことが悔しくて残念に思いました。せっかくオリジナルかるたを作製したので、来期はそれを使ったイベントを開催するなどして活用したいです。しっかりと政策のゴールを決めた上での活動を進められるようにすべきだと今期の活動で思いました。

私は、今期の少年議会も勉強や部活動との両立が大変でした。そんなときに、少年議会のメンバーに支えてもらい、たくさんの関りがあり感謝しています。そして1年間の活動を終えたことで「ふるさと遊佐町」を改めて考えることができました。普段の生活だけでは知ることのできない貴重な体験を少年議会ですることができました。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 荒生 萌歌

私は、少年議員の荒生萌歌です。今期は特産品の開発とオリジナルかるたの作製を政策として行いました。今期の政策も昨年度同様にコロナウイルスの影響を大きく受けました。コロナ禍での政策でもできることをみんなで考えて1年間を終えることができました。特にオリジナルかるたの作製は印象に残っています。池田花恋さんを中心の遊佐町の魅力がたくさん詰まったかるたを作りました。このかるたの作製を進めていくうちに私自身も遊佐町の魅力を再確認することができました。特産品の開発では地域おこし協力隊の中島さんに協力し

てもらいました。中島さんには私たちが作った案の特産品を様々作ってもらい嬉しかったです。また、私たちの作った特産品だけではなく、中島さんが実際に販売しようとするものについても一緒に考えることができました。アイスや金俣そばなど一緒に考える時間はとても楽しかったです。販売される日があれば私たち少年議会のメンバーも売り子などをして協力したいと思っています。

今期も充実した1年になりました。来期も頑張りたいと思います。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 齋藤 翼

私は、少年議員の齋藤翼です。今期の少年議会では、コロナ禍の中でも実現が可能なものを検討しました。それが特産品の開発とオリジナルかるたの作成、ボランティアサークル「くじら」との意見交換会などです。

今期も活動範囲が限られた1年でした。昨年度は町民の方に遊佐町の宝をインタビューする「遊佐町宝探し」、一昨年度は町民参加型の音楽フェスティバルである「ゆぎミュージックフェスティバル」を行いました。どちらも少年議会の活動を知ってもらえる活動ではありませんでしたが、今期は町民が参加できるものが少なかったように思います。来期こそは、町民が参加できるような政策ができることを願っています。

令和5年度には小学校が統合して、使われなくなる小学校が出てきます。その小学校の利用について少年議会でも中高生の居場所作りに使わせていただきたいと思います。今期の政策で作ったかるた大会の会場にしても面白いと考えています。かるたに関しましては、有効活用できるよう今後の全員協議会で更に協議していきたいです。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 池田 花恋

私は、少年議員の池田花恋です。今期の政策で一番印象に残っているのは、かるた作りです。かるたの趣旨としては、かるたで遊佐町の魅力を知り、再発見することです。読み札を遊佐町民の皆さんで、絵札を少年議会で作りました。この政策でやりがいを感じたことが二つあります。一つ目は、ほとんどのかるたの絵札を担当できたことです。読み札と照らし合わせて描き、配色を選ぶ作業はとても楽しいものでした。二つ目は、読み札募集のために広報折込をしたのですが、そのチラシ作りです。私はチラシを作った経験がありませんでしたが、少年議会の過去のチラシを参考するなどして、うまく作ることができました。

初めての少年議会を経験して気づいたことは、たくさんの方と出会えるということです。高校生で大人の方と一緒に考えて協議することは貴重な機会だと思います。また、私たち一人一人が意見を持ち、発信することで大人の方々の心を動かすこともできます。活動を終えて少年議会は思った以上にすごいことをしていると改めて思いました。来期は政策で作ったかるたを活かしてかるた大会をしたいと思っています。新型コロナウイルスの影響を受けるかもしれませんが楽しいものにしたいです。1年間ありがとうございました。

少年議員 池田 涼人

私は、少年議員の池田涼人です。今期の活動は、特産品の開発とゆざっこかるたの作製をしました。特に印象に残ったのはゆざっこかるたの作製です。実際にゆざっこかるたの作製に取りかかり、最初は少年議会メンバーだけでできると思っていました。しかし、いざやってみると44音全てを考えることはとても難しく、自分は意外と遊佐町のことを知らないのだと気づきました。そこで生涯学習センターに遊佐町民みんなで考えた読み札のポストを設置しました。遊佐町民の力も借りて私たちだけでは気づけなかった遊佐町の魅力に気づくことができました。私はこの44音を決めることで44音以外にも遊佐町の魅力はたくさんあり、遊佐町にはもっと広い可能性で溢れていることに気づきました。

今期も新型コロナウイルスの影響で規模の小さい政策になってしまいました。しかしこの状況だからこそゆざっこかるたを完成させることができたとも捉えられます。これからも無限の可能性のある遊佐町の良さを見つけていき、見つけるだけではなく、しっかりと広げられるように頑張っていきたいと思います。1年間ありがとうございました。

少年議員 片山 櫻

私は、少年議員の片山櫻です。地域みらい留学生として遊佐町に来て、少年議会に参加して分からないことばかりでしたが、自分なりに1年間全力で取り組むことが出来ました。活動してきて思ったことはチームビルディングの重要性です。

私は、少年議会のメンバーで活発な話し合いができなかったと感ずることがありました。初めて会う人ばかりということもあり、そもそも少年議会のメンバーのことをよく知らずに活動してきたと思います。全員が打ち解けた状態で活動していけば思ったことを発言しやすくなり、自然といいチームになれたのではないかと思います。

チームビルディングの具体的な過程として、最初の全員協議会のときにアイスブレイクができたと思います。自己紹介の他にも、それぞれがやりたいことも共有できたら自分の気持ちの再確認にも繋がります。アイスブレイクは、このメンバーで頑張っていこうという熱意に大きく影響してくると思います。また、少年議会は遊佐町のために活動しているチームなので、遊佐町についての議論も最初にできればと思いました。私たちは地域みらい留学生として少年議会に参加しているので、いきなり政策を決めろと言われても難しいです。遊佐町の概要や少年議会の概要を知る機会があれば、政策を決めることに繋がれると思います。来期の少年議会では、町議会議員の皆さんとの意見交換会で話した中高生の居場所づくりを政策としてやりたいと考えています。若者の居場所が増えることで、子育てしやすい環境づくり、Uターンで遊佐町に戻ってくる人が増えると思います。1年間ありがとうございました。

少年議員 松下 潤

私は、少年議員の松下潤です。今期初めて少年議会に参加しました。私は県外から来て、少年議会で経験した全てのことがとても新鮮でした。今期の少年議会では、タブレットを使った海外交流やかると大会、特産品の開発などが要望・政策として挙げられました。私は、要望として挙げたタブレットを使った海外交流を担当しました。私はこの要望を通じて、今まであったハンガリーとの交流がなくなったことなど、コロナウイルスの影響を改めて感じる一年となりました。

また全員協議会の中で自分の意見を言う大切さやを知ることができました。他の人の意見を聞くことで、別の視点からの考え方も学ぶことができました。この要望を来年度以降に繋げられるようにしたいと思っています。

1年間の活動を通じて、今まで知らなかった遊佐町の一面を知るいい機会になりました。私は今年度の経験を活かして来年度の遊佐町の発展の力になればと思います。1年間ありがとうございました。

少年議員 太田 英遙

私は、少年議員の太田英遙です。今期から少年議会に入り、少しでも町に貢献することを目標に活動に参加してきました。政策に対しての案を考えることや、町議会議員の皆さんとの交流を通じて遊佐町に対する考え方を深めることができました。

私が活動を通して意識したことは、コロナ禍でもできる活動を考えることです。コロナ禍の影響もあり、通常開催できていた交流会のようなイベントを行うことができません。このままでは、少年議員としての経験が浅いまま1年間が終わってしまうので、一つ一つの活動に一生懸命取り組みました。しかし、遊佐町の特産品の開発に関しまして、地域おこし協力隊の中島さんと進めていましたが、案を出した後は任せっきりになってしまいました。責任感に欠けてしまっていたことを感じているので、来期の活動は気をつけたいです。

来期は大学受験を控えているので、多く関わることはできないかもしれませんが、勉強と両立させ、少年議員を続けたいと考えています。今期の経験を活かし、来期も遊佐町に貢献していきます。来期は新型コロナウイルスが終息していれば、イベントや交流会をしたいと思っています。出来る限り活動に参加して、今年度以上に少年議会に関わり合っていきたいです。特に他に市町村との交流は、新たな考え方を取り入れる絶好の機会です。ぜひ参加したいと思います。以上で今期の活動報告を終わります。1年間ありがとうございました。

少年議会

若者の力で、遊佐の未来をつくる
～遊佐町少年町長・少年議員公選事業～

山形県遊佐町教育委員会 社会教育係

少年議会

youthgikai@town.yuza.lg.jp

少年議会

湧水の里・遊佐町

山形県と秋田県の県境、庄内砂丘の北端に位置

- 人口：13,059人（2021年12月末現在） 面積：208.39 Km²
- 自然：五大自然（山 川 海 平野 砂丘）
鳥海山（2,236m）・月光川（牛渡川・丸池様）
- 産業：米、砂丘メロン、パプリカ、岩ガキ、日本酒





少年議会

きっかけ - 事業以前の遊佐町

少年議会の始まる前の遊佐町は…

- 人口減少、少子高齢化、職住分離、生活形態の多様化
- 「地域づくり」「まちづくり」の重要性が高まる
- 時代を牽引する**若者の減少**

↓

『地域の大人』は何をすれば良いのか…？

?

↓

一方、『若者』はどうしたら良いのか…？

- **若者自身が地域社会の一員であることを自覚**
- 地域社会での**居場所（活躍の場）**を明らかにする

少年議会

きっかけ - 少年議会の誕生

「町」に求められていること

- 厳しい状況を乗り越えて地域の中心となる**若者の育成**
- 若者の**活躍の場**を創るための**環境づくり**
- 若者の**力・意見**を取り入れたまちづくりを推進

↓

『自分たち』の力で、『自分たち』が本当に求める遊佐のまちをつくらう!!

2003年 - 少年町長・少年議員公選事業誕生

少年議会

事業のねらい

- ① 若者たちが、**自らの代表**を『**直接**』選び、政策を実現していくことで、**学校外**で民主主義を**実際に体験・学習**する。また、これを通して社会の構成システムを学ぶ。
- ② 中高生等の未来を担う若者の視点からの提言や意見を、町が積極的に採り上げることを通じて、**若者の町政参加を促す**。
- ③ この事業に関わるすべての関係者が、**若者の意見に学び**、併せて若者たちが、町のシステムや民主主義を**相互に学ぶ場**としたい（相互教育）。

少年議会

少年議会の特徴

- ① **自ら立候補する**
 - 定員：少年町長（1名） 少年議員（10名）
 - 選挙権・被選挙権：町内在住・在学の中学生、高校生
 - 令和3年度 有権者 605名
- ② **中高生（有権者）が全員で投票する**
- ③ **自らの政策を掲げる**
- ④ **独自の政策予算をもつ**
令和3年度：45万円
- ⑤ **政策提言を町の政策に反映させる**
所轄課で予算化



1年の流れ



全体スケジュール

5月上旬	各高校 & 中学校生徒への説明会	
5月下旬	立候補受付期間（約1週間）	
6月上旬	投票日（各学校にて）	町長以下、全課長が出席し、答弁・激励を行う
6月中旬 ～7月上旬	開票・当選証書交付式 第1回 少年議会 （所信表明）	
7月～8月	政策立案期間	
8月下旬	第2回 少年議会 （一般質問・政策提言）	
8月～12月	政策実施期間（視察研修・意見交換会）	
12月下旬	第3回 少年議会 （議会報告）	

立候補者募集

少年議会プロジェクト会議

- 選挙管理委員会、議会事務局、企画課企画係、教育委員会から組織
- 学校を訪問して立候補者募集



選挙(広報)公報の作成

- 立候補者の顔写真と立候補の抱負が記載
- 選挙になった場合、有権者はこれらを参考に投票



投票(アンケート調査)

定数を超えた時は、投票に

- 学校に出向いて、その場で投票
- 投票率：**87.93%**（第18期少年議会）



アンケート調査

- 有権者の意見を政策に反映
- 内容は遊佐町が好きか、どんな町になってほしいか少年議会と一緒にしたい事など



開票・当選証書付与式

開票

- 前年度議員・プロジェクト委員で開票
- 選挙長・選挙立会人も前年度少年議員が務める



当選証書付与式・第1回少年議会

- 当選証書の付与 → 少年町長、少年議員
- 委嘱状の交付 → 少年副町長など
- 第1回少年議会で**所信表明**




政策立案

アンケート集計・分析、政策立案

- 有権者が少年議会・町に何を求めているか
- 少年議会として自分が何をしたいのか
- 回収率：**84.63%**（第19期少年議会）





第11期少年議会 施政方針

平成25年度第11期少年議会 施政方針
文化・人・交流 出合いを大切にする『まちづくり』

政策提言

- ゆぎミュージックフェスティバル**の開催
- 被災地ボランティア**、遊佐高校との連携チャリティイベント
- 世代間の交流（老人ホームへの訪問）
- 特産品**の開発、販売 & レシピ化、発信

一般質問（町への要望）

- 通学路への街灯（防犯灯）設置
- 災害に対する備え（避難路、看板、避難所）

遊佐町イメージキャラクター「^{べえ}米〜ちゃん」 少年議会

町民が一つにまとまるよう遊佐町のシンボルが欲しい
(有権者の声)

- 第2期少年議会が全町民対象に募集し、選考・決定
- 2004年に誕生！今年で17周年のキャラクター！！

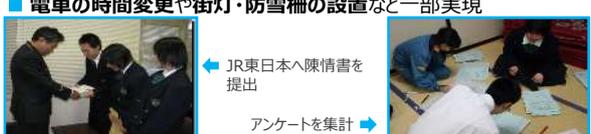


米〜ちゃん&ライちゃんの着ぐるみ ↑
2009年には、ファミリーが登場

要望書・陳情書の提出 少年議会

帰宅時間帯の電車増便の要望 (第5、16期) → JR東日本へ
町内の街灯の設置の要望 (第11期) → 町へ

- 若者の要望を町に届けるため、現地調査や署名活動
- 要望書・陳情書を作成して町・関係機関に提出
- 電車の時間変更や街灯・防雪柵の設置など一部実現



JR東日本へ陳情書を提出
アンケートを集計

特産品開発 少年議会

芋煮コロッケ (第9期～)

- 山形県の郷土料理「芋煮」を手軽に食べられるように
- 味噌味豚肉の庄内風芋煮を再現
- 第11期でレシピを改良し、リーフレット作成



もちっと！米〜カレー (第11期～)

- 遊佐ブランド推進協議会と連携して開発
- 新特産品「鳥海山の恵みをいただくカレー」を食べやすく
- 形や素材・トッピングで遊佐町の五大自然を表現

被災地支援・ボランティア 少年議会

東日本大震災被災地支援活動・募金 (第9期)

- 高校と連携して、現地でボランティアを実施
- 町内イベントで募金活動 (第9期～)



クリスマス交流会in陸前高田 (第11期)

- 被災地でのソーランチャリティがしたい & 心の交流を行いたい
- 少年議会 & 遊佐高校の約30名が参加
- 芋煮とソーラン・ハンドベル教室で交流
- 1週間前から練習を重ねて臨んだ
- 準備～当日司会まで少年議会で企画



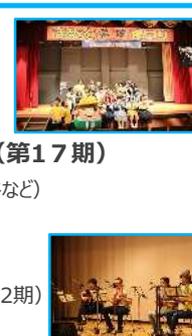
ミュージックフェスティバル 少年議会

- 若者の集まるイベントを行いたい！
- 町に元気を呼び込みたい！

数年に一度音楽イベントを開催

第7回ユザミュージックフェスティバル (第17期)

- 出場団体・個人：5組 (歌・ダンス・バンドなど)
- スペシャルゲスト「朝倉さや」 (第12期)
- ポスター・看板・プログラムなど全て制作
- イベント終了後には、特産品を販売 (第12期)
- 総勢約150人の若者が集まり、大成功！



パブリカレシピ集の作成 少年議会

- 遊佐町をもっとPRしてほしい！

検討し…

遊佐町の特産品を利用しよう！

遊佐町の特産品を活用したPR (第13期)

- 遊佐町の特産品であるパブリカを活用
- 町内の学校・公共施設等に設置、HPの活用
- 完成した冊子は町内のみならず、町外イベントなどでも活躍中!! (ホームページにも掲載)



町内イベントを集めた冊子の作成
少年議会

- 「遊佐町に住んでいるが地域でどんなイベントやお祭りがあるか良く分からない」、「遊佐町をPRしてほしい！」

↓

**「遊佐町大図鑑
～おもしろイベントいっぱい載ったぞ～」(第14期)**

- 米～ちゃんの形をした冊子（町内のイベント・お祭りを調べ、月ごとに掲載）
- 自分たち自身でイベントやお祭りを調べていくうちに改めて地域を知り、地域の良さを再認識



手づくりベンチの製作・設置
少年議会

- 「遊佐駅の待合室が狭く、下校時は電車を待つ高校生でいっぱいになり、他の利用者に迷惑をかけている」、「遊佐町と少年議회를PRするデザインにしたい！」

↓

米～ちゃんベンチの製作・設置 (第15期)

- デザイン案 ～ 塗装作業 ～ テープカット式典
- 町内4ヶ所にそれぞれ違うデザインのベンチを設置



スタディスペースの開催
少年議会

- 遊佐町には若者の居場所が少ない。学校終わりや、土日に集まれるような場所が欲しい！

↓

スタディスペースの開催 (第16期)

- テスト期間に生涯学習センターを自習室として開放
- 図書館に学び合いスペースができるきっかけに



町議会議員との意見交換会の実施
少年議会

- 少年議会の政策を充実させるために大人の議員たちの意見も参考にしたい！

↓

町議会議員との意見交換会の実施 (第17、18期)

- グループに分かれて少年議会の政策について協議
- 第19期～定例化となり政策としてではなく年間スケジュールの一部として実施



ガイドブック(トリセツ)の作成
少年議会

- 少年議会のことを知らない小学生がたくさんいる…。もっと少年議会のことを知ってもらいたい！

↓

少年議会ガイドブック(トリセツ)の作成 (第18期)

- 小学生を対象にした少年議会のガイドブックを作成した。
- 小学校の事業説明の際に、配布を行い理解を深めてもらった。



オリジナルかるた(ゆざっこかるた)の制作
少年議会

- コロナ禍でも遊佐町を盛り上げられる政策をしたい…。イベントの開催は難しいが“かるた”を作って配布はできる！！

↓

オリジナルかるた(ゆざっこかるた)の制作 (第19期)

- 町民からもゆざっこかるたの存在を知ってもらいたい。
⇒ 読み札の募集
- 遊佐町の理解を深められるような読み札の内容
⇒ Ex)アマハゲヤツデーマーチ



事業の効果	少年 議会
<p>【少年町長・少年議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 遊佐町に関心を持つようになった ■ 自信と責任が生まれた ■ 地域におけるリーダーが育ち始めている <p>【地域住民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 挨拶の仕方・人前での発言が「頼もしくなった」「上手になった」との声 ■ 団体から少年議会に、意見・アイデアを求めるケースも <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 若者の提言を、町議会と同等の重みを持って受け止め、反映 	

今後の課題	少年 議会
<p>本事業についての更なる周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 有権者や地域の大人からより一層少年議会について知ってもらい、活動に参加・協働してもらいながら事業を進める必要あり。 <p>立候補者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和2年度は少年議員に17名の立候補があったが、近年、新しい立候補者が少なく選挙にならない傾向にある。多くの立候補があるよう更に、有権者の中学生・高校生に興味を持ってもらえるよう活動内容のPRと、保護者、関係機関への協力の呼びかけを行う。 <p>少年町長が次に伝えたいこと（第13期）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「自分は少年町長として完璧ではなかった。しかし、少年議員の支えや周囲の助けがあって活動することができている。助け合うことで何とか一年を締めくくれた。」（第3回少年議会より） 経験（努力）することで学ぶことのできる場であることを伝えたい。 	



少年
議会

ご清聴ありがとうございました

youthgikai@town.yuza.lg.jp

町議員との意見交換会の様子



くじらとの意見交換会の様子（視察研修）



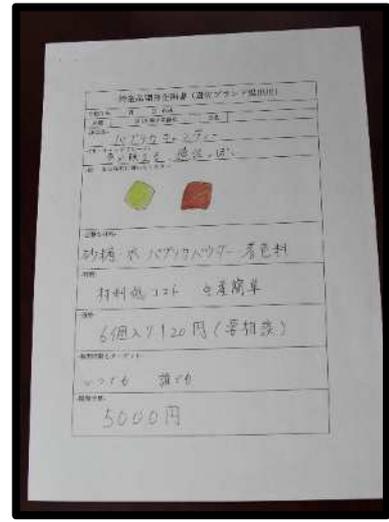
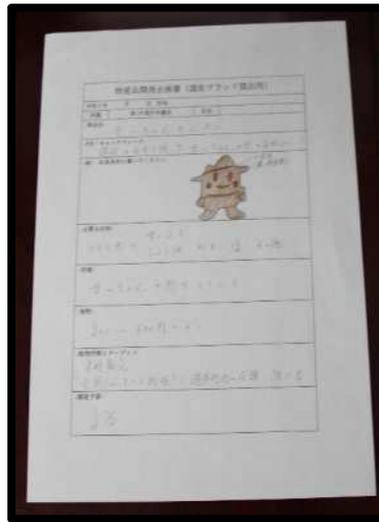
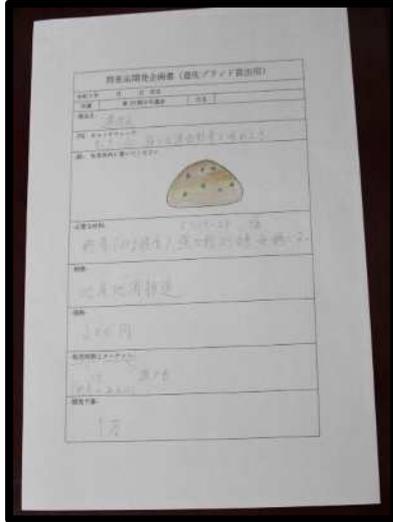
特産品開発の様子

特産品（案）

案1 遊佐丸

案2 米え〜ちゃんせんべい

案3 パプリカキャンディ



試作品



ゆざっこかるた読み札募集チラシ

第19期少年議会 オリジナルかるたを作ります！

募集期間

9月15日（水）～10月15日（金）

第19期少年議会の政策の1つとしてオリジナルかるたを作成します！
遊佐町の観光地から特産物まで遊佐町を紹介をする、計44音（あ～わ）の読み札を募集します。

どなたでも ご応募いただけます！※絵札の募集は行っていません。

読み札大募集！

- 読み札は「あ」から「わ」の44音のいずれかで、基本的に30字以内で募集します。
- 遊佐町に関連するものが入っていれば何でも構いません。
（例）あ：秋は鳥海ブルーラインの紅葉を見ながらドライブだ！
- 一人何作品でもご応募できます。

応募方法

- 裏面の情報を記入の上、メール・ファックス・ポスト投函（生涯学習センター設置）のいずれかでご応募ください。
- メールでのご応募の場合は裏面の情報をすべて明記の上、お送りください。

送付先

メールアドレス：youthgikai@town.yuza.lg.jp ファックス番号：0234-71-1222
ポスト投函：生涯学習センター事務室前にポストを設置しておきますので投函してください。

採用作品の決定

応募作品が多数の場合には、審査のうえ採用作品を決定いたします。

採用された方には記念品をプレゼントします！

※採用者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。



ゆざっこかるた完成品

原画例 1



原画例 2



完成写真 1



完成写真 2



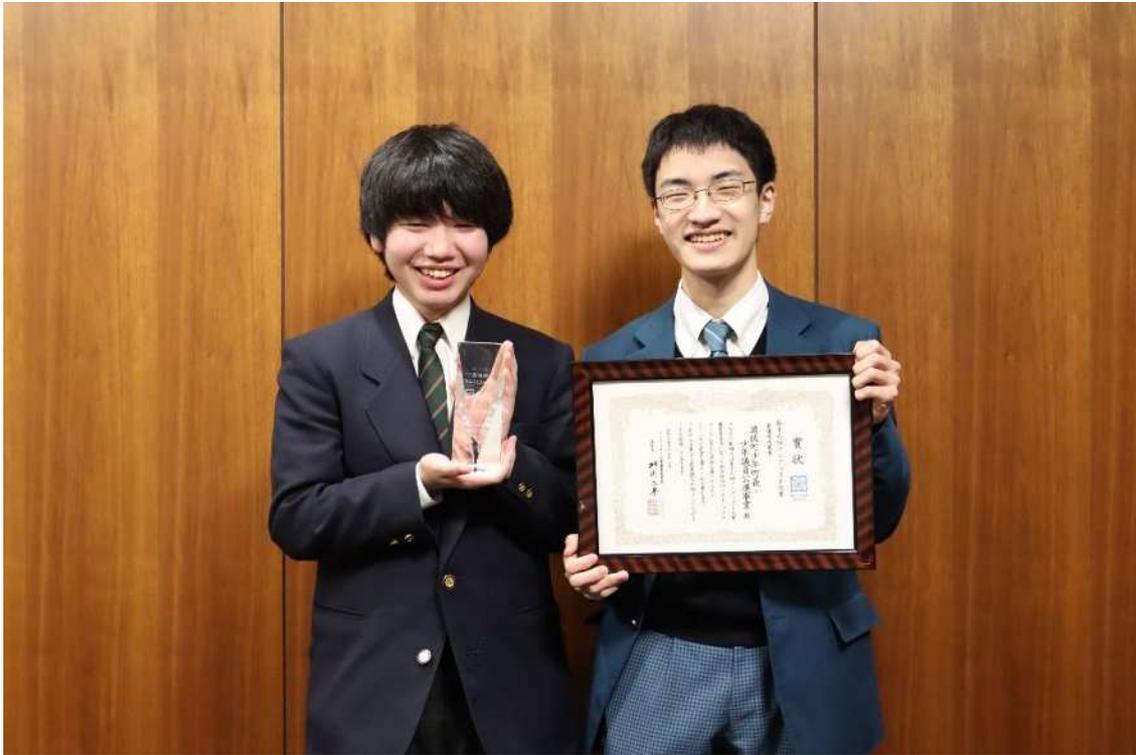
完成写真 3

① ランドセル 緑の中に 花が咲く	② 山コースは 自然と融れる ツアーリーダー	③ また冒険 遊佐町の天気	④ ハイキングに 行く 高嶺へ	⑤ 何もなさそう 実は魅力の宝箱	⑥ たぐさんの 遊佐で遊ぼう 遊ぼう	⑦ 遊佐島海山 見れば 感動押し寄せる	⑧ 山の形 おてこの部分は 遊佐町	⑨ アハタをそ 隠してはくえんが
⑩ りっぱな ちようしゃ 遊佐町遊場	⑪ 国立の世界へ 杉並山	⑫ 三日月が 輝きに照らす 遊佐の町	⑬ ひろびろと 寫つばあちる 島海山	⑭ 肉厚で甘い!! パプリカは ソルノク市との 友好の証	⑮ 地域の発展 頑張ってます 少年隊	⑯ 十六層の 私の棟全部 見つけられるかな	⑰ キラキラ 星空の下 深野	⑱ いい景色 遊佐町全部が 映えスゴい
⑲ ランと 散歩が楽しい 遊佐町	⑳ よく来たの カキにパプリカ えつべ食べ	㉑ 昔 松尾が 通ったとき	㉒ ふと見ると 改めて感じる 島海山の美しさ	㉓ めがけ美味い おぼろ味の味 みんなの名前	㉔ ツアーリーダー みんなが てくてくて	㉕ スカスカの 電車の特急 田舎っぽい	㉖ 車と友達 遊佐町	㉗ 海コースは 美味いもの いっぱい ツアーリーダー
㉘ 歴史ある 遊佐のお寺 ふせい	㉙ 湧き水が おいしい お寺	㉚ めずらしい 小さな ちようかい	㉛ へばり 子どもの 寝る時間	㉜ ねえ食べる? 米いちゃん ファミリ みんなの名前	㉝ 遊佐の父 佐藤 佐藤	㉞ 世界一 昔の 遊佐町	㉟ 遊佐町が いさか 忙しい	㊱ えんえんと おんおん うまい
㊲ えんえんと おんおん うまい	㊳ そのまま 遊佐の湧き水	㊴ ちと 遊佐には 足りない	㊵ 遊佐 遊佐町の田んぼ	㊶ 登る 牛津川	㊷ 遊佐の父 佐藤 佐藤	㊸ 遊佐の味 中山河川公園	㊹ 米の味 食べればわかる うらやま	㊺ オレンジ色の 庄内 おんおん 食べやすい

ゆざっこかるた寄贈の様子



第16回マニフェスト大賞成果賞最優秀賞受賞



若い力を町政に
〜第19期遊佐町少年議会〜

6月25日(金)、遊佐町少年議会当選証書授与式及び第1回少年議会が行われました。若者によるまちづくりを目指すため、町内在住・在学の中高生の中から少年町長などを選出し、45万円の子算を使って、若者目線による柔軟な発想のもと事業を行います。昨年度は「遊佐町宝探し」という、町に眠っている想いの「宝」を探すため、様々な人にインタビューをした後、取りまとめを行い、ポスターを作成しました。他にも、違う視点から町おこしを考えるため、町議会との意見交換を行い、個人の成



当選証書授与式の様子



今年度も若い力で町おこしを

長にもつながったようです。この日、12名が少年町長・副町長・議員に選出され、それぞれの公約や所信表明を行いました。少年町長に就任した佐藤壘さんは、「昨年度までの4年間、少年議員として町に必要なものは何かなどを考え活動してきた。今年度は少年町長として町をよりよくするために活動していきたい。」と所信を述べ、新たな少年議会の活動が幕を開けました。

第19期 遊佐町少年議会 活動報告

まちおこしのために

〜特産品開発〜

遊佐ブランド推進協議会と連携して、町の名産品を使った特産品の開発事業を展開しました。

特産品は、「遊佐産の米を使った米〜ちゃんせんべい」「遊佐産のパプリカを使ったパプリカキャンデー」「遊佐産の野菜を混ぜ込んだパン（遊佐丸）」の開発にチャレンジ。コロナ禍ということもあり、残念ながら販売までは実現できなかったものの、今後も遊佐ブランド推進協議会において試作を継続し、販売実現に向けて研究が進められる予定です。

四季折々の町の食の豊かさを生かし、少年議会では今後も町のPR、地産地消を見据えながら、特産品開発事業をしていきます。

笑顔の町民をみたい

〜ゆざっこかるた制作〜

「コロナ禍で活気が落ちつつある町を盛り上げたい」というテーマのもと、オリジナルかるたを制作、配布することで、町民に笑顔になってもらおうと企画したものです。

かるたは、町民が町を誇りに思い、良さを更に知ってもらうことを目的として制作。読み札は広報で募集し、絵札の作画は全て少年議会で行いました。また、絵札は子どもからお年寄りまで親しめるような、温かみのある絵として統一感を持たせています。

一般販売は行わず、町内の施設に寄贈して、各施設での利用が可能となっています。今後少年議会では、このかるたを使用して町内かるた大会を開催することも検討しています。

● 教育課社会教育係

☎ 72-2236



遊佐丸と米〜ちゃんせんべい試食



色塗りの様子



施設への寄贈の様子



「し」十六羅漢の仏の顔全部
見つけられるかな

今年度で19期目を迎える遊佐町少年議会は、少年町長（1名）・少年副町長（1名）・少年議員（10名）の計12名で活動してきました。当選した昨年6月から12月まで、学業・受験・部活動との両立を図りながら、町の事を考え一生懸命活動しました。活動を締めくくり主な活動を紹介しします。

他にもさまざまな活動やイベントに参加や協力を行っています

- ・町議会との意見交換会
- ・衆議院選挙に向けた選挙音源の録音
- ・鹿の角切り（大平山荘 鹿公園）
- ・第16回マニフェスト大賞成果賞「最優秀賞」受賞
- ・ボランティアサークル「くじら」との意見交換会
- ・歳の市ボランティア
- ・全国まちづくり若者サミット2022



くじらと少年議会の集合写真



若者サミットへのオンライン参加



少年町長
佐藤 壘
(羽黒高校2年)

今期もたくさんの視察が少年議会にありました。私は、全国に少年議会のような組織がもっと増えてほしいと思っています。来年度も今年度の経験を活かして遊佐町のために活動していきたいと思っています。1年間ありがとうございました。



少年副町長
安藤 希祥
(遊佐高校2年)

マニフェスト大賞について、2,730件の応募数の中から最優秀賞を受賞できたことは胸を張っていいことだと思っています。これまでの積み重ねがこの結果に繋がったと思うのでこれから遊佐町に明るいニュースを届けられるように頑張ります。



少年副議長
齋藤 温人
(酒田東高校2年生)

政策を進めていく中で、多くの町の良さに気づくことができました。今後も少年議会で経験したことを胸に、遊佐町の良さを発信していきたいと思っています。同時に自分自身でも良さを見つけられるよう日々過ごしたいと思っています。1年間ありがとうございました。



少年議員
荒生 萌歌
(遊佐中学校3年)

特産品の開発では地域おこし協力隊の方に協力してもらい、私たちが作った案の特産品を色々作ってもらい嬉しかったです。販売される日があれば私たち少年議会のメンバーも売り子などをして協力したいと思っています。



少年議員
池田 花恋
(遊佐高校1年)

初めての少年議会を経験して気づいたことは、たくさんの大人の方と出会えるということです。私たち一人一人が意見を持ち、発信することで大人の方々の心を動かすこともできます。活動を終えて少年議会は思った以上にすごいことをしていると改めて思いました。



少年議員
片山 櫻
(遊佐高校1年)

活動してきて思ったことはチームビルディングの重要性です。私は、初めて会う人ばかりということもあり、政策を考えて決める際には苦労もしました。手軽に身近なところで町や少年議会の概要を知る機会があれば、政策を決めることに繋がれると思います。



少年議員
太田 英遙
(酒田東高校2年)

今期から少年議会に入り、少しでも町に貢献することを目標に活動に参加してきました。政策に対する案を考えることや、町議会議員の皆さんとの交流を通じて遊佐町に対する考え方を深めることができました。

今期の活動を 終えて

12月24日(金)に第3回少年議会を開催し、今年度の活動が終了しました。

第3回少年議会で発表した活動報告の作文を紹介합니다。(一部抜粋)



少年議長
鈴木 詩乃
(酒田光陵高校2年生)

今期の活動を通して、遊佐町の一番の課題と感じたのは過疎化についてです。来期の少年議会ではスポットに特化した活動をしたいと考えています。今期の少年議会で得たことを活かして、来期でも遊佐町に貢献していきたいです。



少年議員
齋藤 妃花里
(遊佐中学校2年)

少年議会・勉強・部活動との両立が大変でした。そんなときに、少年議会のメンバーに支えてもらい、また普段の生活だけでは知ることのできない貴重な体験を少年議会ですることができて良かったと感じています。



少年議員
齋藤 翼
(遊佐中学校3年)

今期の少年議会では、コロナ禍の中でも実現が可能なものを検討しました。それが特産品の開発とオリジナルかるたの制作、ボランティアサークル「くじら」との意見交換会などです。来期こそは、町民が参加できるような政策ができることを願っています。



少年議員
池田 涼人
(酒田南高校1年)

ゆざっこかるたの制作に取りかかってみると、44音全てを考えることはとても難しく、自分は意外と遊佐町のことを知らないのだと気づきました。今回使用した44音以外にも遊佐町の魅力はたくさんあり、遊佐町にはもっと広い可能性で溢れていることに気づくことができました。



少年議員
松下 潤
(遊佐高校1年)

私は県外から来て、少年議会で経験した全てのことがとても新鮮でした。全員協議会の中では自分の意見を言う大切さを知ることができました。他の人の意見を聞くことで、別の視点からの考え方も学ぶことができました。活動を通じて、今まで知らなかった遊佐町の一面を知るいい機会になりました。

令和3年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業
プロジェクト委員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	議事係長	東海林 エリ
2	総務課（選管）	総務係主査	佐藤 裕也
3	企画課	定住促進係主任	友野 友
4	〃	観光物産係主事	金子 圭汰
5	教育課	課長	菅原 三恵子
6	〃	学校指導係長兼指導主事	佐藤 健太郎
7	〃	総務学事係主事	池田 小珠
8	〃	文化係主事	渋谷 咲智
9	〃	社会教育係長	斎藤 浩一（事務局）
10	〃	社会教育係主査	太田 さおり（事務局）
11	〃	社会教育係主任	佐藤 蓉子（事務局）
12		社会教育係主事	風間 雅文（事務局）
13	〃	社会教育係主事	菅原 優輔（事務局）
14	〃	社会教育アドバイザー	菅原 充（事務局）
15	〃	社会教育アドバイザー	今野 誠（事務局）

- ◆ 遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。
- ◆ プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※ 担当課 … 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課



明日の遊佐町に
ぼくたち、わたしたちは
提案します。



**遊佐町のイメージキャラクター
「米~ちゃん (ベえ~ちゃん)」**

第2期少年議会で募集されて生まれました。
今では、遊佐町を代表するキャラクターと
なっています。